

奈良県で確認された蛾類の記録 1 (カイコガ科, ヤママユガ科, ヒトリガ科, コブガ科)

木村 史明

Distributional records of some Moths from Nara Prefecture 1 (Bombycidae, Saturniidae, Arctiidae, Nolidae)

Fumiaki KIMURA

キーワード：奈良県の分布記録, チョウ目, カイコガ科, ヤママユガ科, ヒトリガ科, コブガ科

Key Word: Distributional records from Nara, Lepidoptera, Bombycidae, Saturniidae, Arctiidae, Nolidae

2017年発行の「奈良県野生生物目録」では1,502種の蛾類昆虫が記録されているが、その後の調査などで、この目録に未収録の種を複数確認している。今回、目録未収録の蛾類のうち、これまでに確認しているカイコガ科, ヤママユガ科, ヒトリガ科, コブガ科に属する種を記録しておく。

チョウ目 カイコガ科

スカシサン *Prismosticta hyalinata* Butler, 1885

1♀, 十津川村旭, 23. V. 2021, 筆者撮影

【確認時の状況】 21時40分頃, 幼虫の食餌植物であるタンナサワフタギ(ハイノキ科)が混じる疎林内の低木(樹種不明)の枝先に静止していた(図1)。



図1 23. V. 2021, 十津川村旭

スカシサンは日本固有種で本州, 四国, 九州に分布することが知られている。山地性の種で, いずれの産

地でも確認例は多くなく, 現在大阪府など7府県でレッドデータ種として取り上げられている。

チョウ目 ヤママユガ科

クロウスタビガ *Rhodinia jankowskii* (Oberthür, 1880)

1♂, 十津川村旭, 12. X. 2021, 筆者撮影・採集 (橿原市昆虫館保管)

1♂, 十津川村旭, 15. X. 2021, 筆者撮影・採集 (橿原市昆虫館保管)

【確認時の状況】 いずれの個体もライトトラップに飛来したもので, 10月12日の個体は19時頃, 10月15日の個体は19時30分から20時30分の間に飛来した(図2)。両日とも確認個体以外の本種の飛来は見られなかった。



図2 15. X. 2021, 十津川村旭

クロウスタビガは国内では北海道から九州の寒冷地

環境に分布し、西日本では高標高地での確認が多いようだ。紀伊半島からはこれまで記録がないと思われ、滋賀県など6県でレッドデータ種として取り上げられている。幼虫の食餌植物はキハダ(ミカン科)が知られている。

チョウ目 ヒトリガ科

ウスグロコケガ *Siccia obscura* (Leech, 1889)

1 ex., 十津川村神下, 13. IX. 2014, 筆者 撮影

【確認時の状況】 照葉樹が多くみられる林に向けて実施したライトトラップに21時30分頃に飛来した(図3)。



図3 13. IX. 2014, 十津川村神下

ウスグロコケガは日本固有の種で、北海道から九州、屋久島に分布し、幼虫は地衣類を食べることが知られている。

チョウ目 ヒトリガ科

クロテンシロコケガ *Aemene fukudai* (Inoue, 1965)

1 ex., 橿原市南山町, 26. VI. 2019, 筆者 撮影

1 ex., 橿原市南山町, 6. IX. 2019, 筆者 撮影



図4 26. VI. 2019, 橿原市南山町

【確認時の状況】 いずれの個体も橿原市昆虫館に隣接する街灯下で静止していたもので(図4)、街灯の灯りに誘引されたものと思われる。

クロテンシロコケガは日本固有種で本州と四国から記録されているが、産地は比較的限定されるようである。幼虫は地衣類を食べることが知られている。

チョウ目 ヒトリガ科

キハダカノコ *Amata germana* (Felder & Felder, 1862)

1 ♂ 1 ♀, 曾爾村太良路, 24. VII. 2016, 筆者 撮影

【確認時の状況】 いずれの個体も夜間(21時30分~23時頃)に山間の草地環境の草の葉に別々に静止していた(図5)。



図5 24. VII. 2016, 曾爾村太良路

キハダカノコは国内では本州、四国、九州、対馬に分布し、西表島からは別亜種が記録されている。長野県など5県でレッドデータ種として取り上げられている。

幼虫はササ類のほかキク科やスイカズラ科などの植物を食べることが知られている。

チョウ目 ヒトリガ科

モンシロモドキ *Nyctemera adversata* (Schaller, 1788)

1 ex., 十津川村旭, 11. X. 2021, 筆者 撮影

【確認時の状況】 19時50分頃、ブナ(ブナ科)が混じる林に向けて実施したライトトラップに飛来した(図6)。



図6 11. X. 2021, 十津川村旭

モンシロモドキは国内では琉球列島を中心に関東北部以南の各地で記録があるが、基本的に本土域では定着できず、一時的な発生を含む偶産であると考えられている。幼虫はキク科のスイゼンジナやヒメジョオン、ビロードサンシチなどを食べる事が知られている。

チョウ目 コブガ科

ナミコブガ *Nola nami* (Inoue, 1956)

1 ex., 高取町高取, 11. V. 2019, 筆者 撮影

1 ex., 十津川村旭, 23. VII. 2021, 筆者 撮影

【確認時の状況】 高取町の個体は13時30分頃にスギ(ヒノキ科)の幹に静止しているものを確認した。十津川村の個体はライトトラップに飛来したもので、21時30分頃に確認した(図7)。



図7 23. VII. 2021, 十津川村旭

ナミコブガは国内では北海道から屋久島までの各地に分布しており、幼虫の食餌植物はリョウブ(リョウブ科)やドウダンツツジ(ツツジ科)などが知られている。

チョウ目 コブガ科

ツクシアオリング *Hylophilodes tsukusensis* Nagano, 1918

1 ex., 檜原市南山町, 5. XI. 2021, 筆者 撮影

【確認時の状況】 日没後の19時頃に街灯近くの植え込みに静止していたもので(図8)、街灯の灯りに誘引されたものと思われる。



図8 5. XI. 2021, 檜原市南山町

ツクシアオリングは国内では関東以西の本州と四国、九州に分布する。幼虫はマテバシイ(ブナ科)の葉を食べるが、マテバシイが街路樹などで植栽されるのに伴って、分布が広がっているとされる。

チョウ目 コブガ科

ネジロキノカワガ *Negritothripa hampsoni* (Wileman, 1911)

1 ex., 檜原市南山町, 24. V. 2020, 筆者 撮影

【確認時の状況】 クヌギなどが混じる里山環境でのライトトラップを用いた調査中、20時40分頃に飛来した(「令和2年度飛鳥地域の昆虫相調査」の項参照)(図9)。



図9 24. V. 2020, 檜原市南山町

ネジロキノカワガは日本固有の種で、本州、四国、九州、対馬に分布し、幼虫の食餌植物は、ブナ科のクヌギやコナラが知られている。

チョウ目 コブガ科

シンジュキノカワガ *Eligma narcissus* (Cramer, 1775)

1 ex., 奈良市登大路町, 7. XI. 2017, 木村洋一 採集 (橿原市昆虫館保管)

1 ex., 十津川村旭, 13. X. 2020, 筆者 撮影・採集 (橿原市昆虫館保管)

1 ex., 橿原市南山町, 18. X. 2020, 池田大 採集 (橿原市昆虫館保管)

【確認時の状況】 奈良市で採集された個体は歩道脇に静止していたとのことで、翌2017年11月8日に橿原市昆虫館に寄贈いただいた。奈良県では最初の記録と思われる。十津川村の個体はライトトラップに19時50分頃飛来したものである。橿原市の個体は22時頃、街灯に隣接した橿原市昆虫館の壁面に静止していたもので、街灯の灯りに誘引されたものと思われる(「令和2年度飛鳥地域の昆虫相調査」の項参照)(図10)。



図10 13. X. 2020, 十津川村旭

シンジュキノカワガは国内では北海道から九州までの各地で確認されているが、暖冬時などの例外を除き、基本的に日本では冬を越せず、毎年中国から飛来して世代を更新し、秋に成虫が現れると考えられている。

幼虫の食餌植物はニガキ科のニワウルシ(別名:シンジュ=神樹)であるが、本来国内に自生のニワウルシはなく、明治初期に中国から持ち込まれたものが広まったとされる。

引用および参考文献

- 井上寛・杉繁郎・黒子浩・森内茂・川辺湛・大和田守, 1982, 日本産蛾類大図鑑 I, 966pp, 講談社.
- 岸田泰則(編), 2011, 日本産蛾類標準図鑑 I, 352pp, 学研教育出版.
- 岸田泰則(編), 2011, 日本産蛾類標準図鑑 II, 416pp, 学研教育出版.
- 奈良県レッドデータブック改訂委員会, 2017, 奈良県野生生物目録, 奈良県くらし創造部景観・環境局景観・自然環境課.
- 埼玉県環境部みどり自然課(編), 2018, 埼玉県レッドデータブック動物編2018, 419pp, 埼玉県環境部みどり自然課.
- 鳥根県環境生活部自然環境課(編), 2014, 改訂しませねレッドデータブック 鳥根県の絶滅のおそれのある野生動植物2014動物編, 415pp, 鳥根県環境生活部自然環境課.
- 杉繁郎・山本光人・中臣謙太郎・佐藤力夫・中島英雄・大和田守, 1987, 日本産蛾類生態図鑑, 453pp, 講談社.
- 富山県生活環境部自然保護課(編), 2012, 富山県の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブックとやま 2012 -, 415pp, 富山県生活環境部自然保護課.